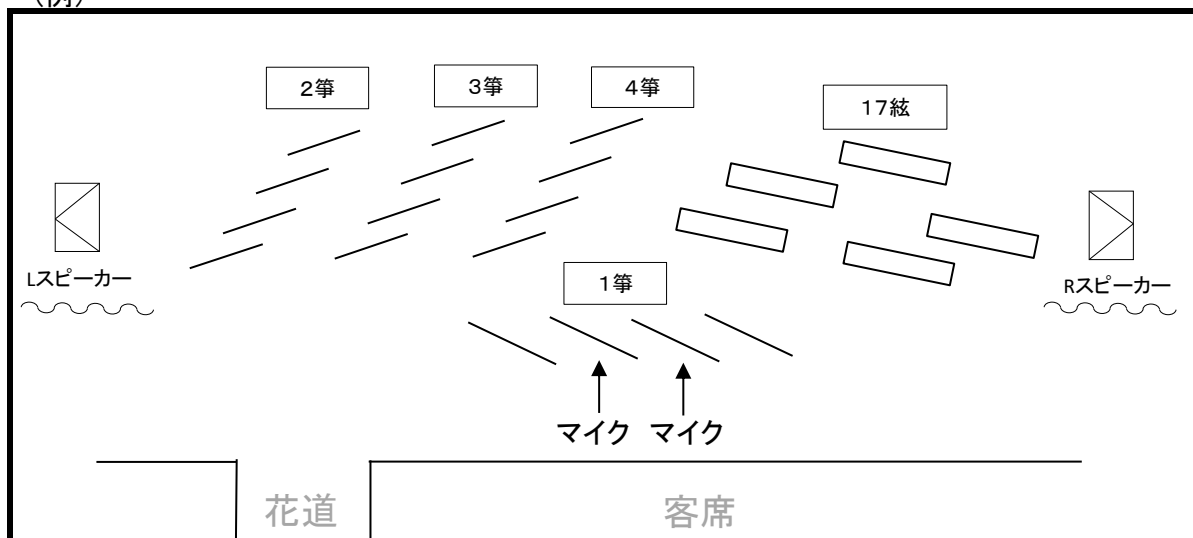


高文連 日本音楽部門 音響記入例

※ 国立劇場では常設のマイクで音量バランスの調整を行います。
ソロや演出等でマイクが必要な方は下記のように矢印の記入をお願いいたします。

(例)



舞台中返しスピーカー	(あり)・なし・未定
2箏の音を17絃に返す	

備考・質問

リハーサルの流れ(通し演奏は2回行います)
<p>① 1回目終了後、合わせづらくないかお聞きします。 該当する方は手を挙げて、何の音が聞きたいか教えてください。</p> <p>② 調整作業を行います。 例1) Lスピーカーに17絃の音、Rスピーカーに2箏の音を返す。 例2) L/Rのスピーカーに1箏の音のみを返す。</p> <p>③ 返しの音を聞きながら、1番合わせづらい箇所の演奏をしてもらいます。</p> <p>④ 調整が終わり次第、2回目の演奏を行ってください。</p> <p>◎ 調整が必要無い場合は1回目終了後、続けて2回目の演奏をしていただきます。</p> <p>※ 顧問の先生・担当の先生は、国立劇場の音響係と一緒に客席に座っていただき、ご希望をお聞かせください。 (メロディー中心に聞かせたい、全体的に大きな音にしたい、17絃を強調させたいなど)</p>

宜しくお願い致します。

学校名

リハーサル
本番

月 日
月 日

花道

客席

あり ・ なし ・ 未定

備考・質問